

2014年6月23日

株式会社日立ソリューションズ

「To-Increase Product Engineering for Microsoft Dynamics AX」を提供開始 PLMシステムとERPを連携し、設計部門と製造部門の情報共有を実現

株式会社日立ソリューションズ(本社:東京都品川区、取締役社長:佐久間 嘉一郎/以下、日立ソリューションズ)は、オランダのTo-Increase B.V. (トゥーインクリース/本社:オランダ ベーネンダール、取締役会長: Cornelis Bosch/以下、To-Increase社)と販売代理店契約を締結し、組立製造業の設計部門と製造部門の情報共有を図る「To-Increase Product Engineering for Microsoft Dynamics AX」モジュールの提供を、6月24日から開始します。

本モジュールはPLM(製品ライフサイクル管理)システムと連携し、品目やBOM(Bill of Materials)^{※1}などの情報を設計部門と製造部門で共有するものであり、Microsoft社のERP製品「Microsoft Dynamics AX」の上で動作するISV^{※2}ソリューションです。

このソリューションにより、設計部門や製造部門は、最新の設計情報や仕様を迅速に把握するとともに、設計変更の履歴の管理を実現します。また、変更の際には、他の工程への影響度合いや部品の在庫状況を事前に調べることが容易になります。

- ※1 組立型製造業において、製品がどの部品・下位構成品・中間製品および原資材などから構成・製造されるのかという関係を示したリスト、またはデータベースのこと
- ※2 「Microsoft Dynamics AX」には開発用レイヤーとして「ISV (Independent Software Vendor)」レイヤーが設けられており、認定されたベンダーは独自ソリューションとして標準機能にない付加価値機能を提供することができます。

組立製造業では、設計部門はPLMシステムでCADデータや設計BOMを管理し、製造部門は設計BOMをもとに製造BOMを作成し、ERPや生産管理システムを利用して管理しています。設計や製造部門間において、双方の情報を連携して活用することが重要ですが、多くの企業では、製造部門の一部の管理者が個人の経験に基づいて設計情報を改変して利用するなど、属人的に対応したり、個別システムの開発や導入を行ったりすることが一般的です。しかし昨今、製造業のサプライチェーンがグローバル化し、作業者の技術レベルが多様化する中、遠隔地にある設計や製造部門が情報をシステムによって共有と活用し、生産着手後に設計変更の必要が生じた時に迅速かつ効率的に対処することが課題となっています。

「To-Increase Product Engineering for Microsoft Dynamics AX」モジュールは、Microsoft社のERP製品「Microsoft Dynamics AX」と、PTC社などのPLMシステムとの連携機能を提供します。

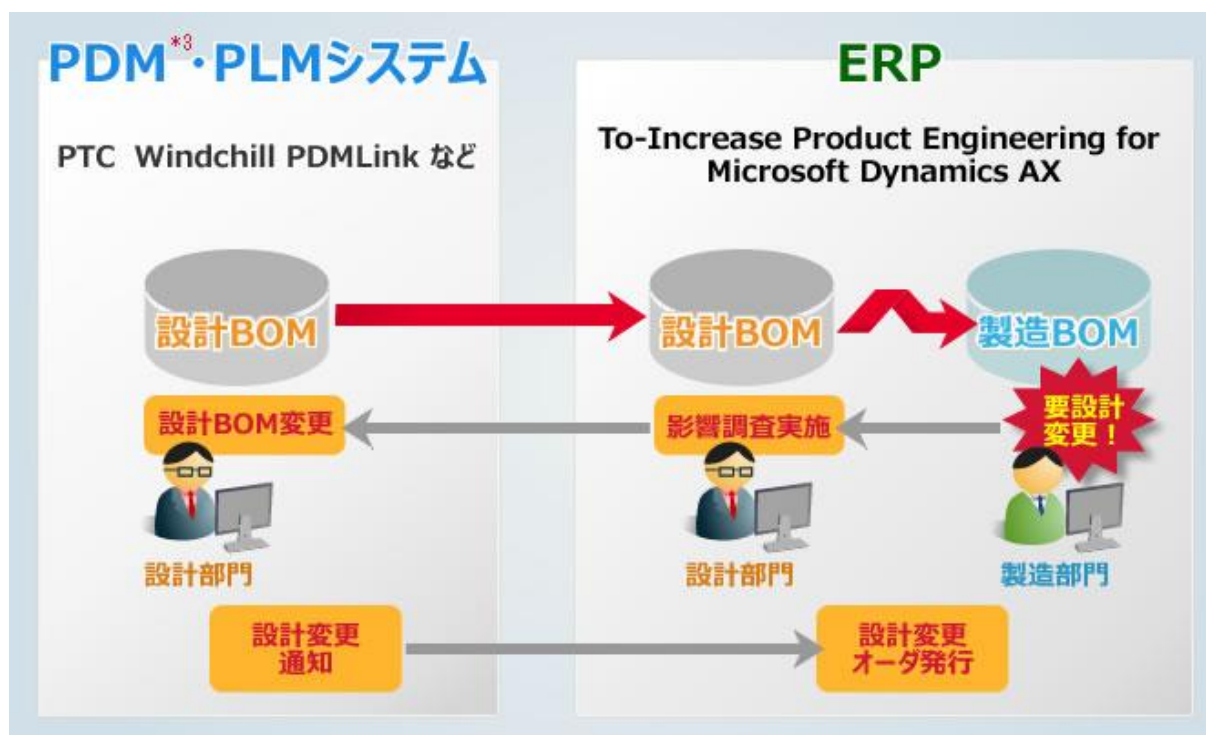
たとえば、設計変更の必要が生じた際、「Microsoft Dynamics AX」上で製造工程の進捗、受注や出荷の状況、在庫への影響を確認した上で、設計変更の適用可否やタイミングを判断することが可能になります。また、製造部門や販売部門からの設計変更依頼を「Microsoft Dynamics AX」上で設計部門と共有することが可能です。

これらによって部門間の情報伝達をサポートし、管理コストを軽減します。

日立ソリューションズは、米国拠点にMicrosoft Dynamics事業の中核となる「Global Center of Excellence」を設置し、グローバルにノウハウや案件を共有しています。「To-Increase Product Engineering for Microsoft Dynamics AX」モジュールは欧米のグローバル企業に導入し、実績を確認した製品です。

日立ソリューションズは今後も、グローバル展開する製造業の企業を支援するさまざまなソリューションを提供していきます。

■ システム概要図



※3 製品などの設計や管理の工程において、製品に関する一連の情報の一元的な管理を実現するシステムのこと

■ To-Increase社について

To-Increase社は、マイクロソフト社認定のISVで、「Microsoft Dynamics AX」にアドオンする組立製造業向け・建設業向け・業種横断型のさまざまなアドオンテンプレートを開発しており、全世界で約1600社の導入事例があります。

<http://www.to-increase.com/>

■ 日立ソリューションズの Microsoft Dynamics 事業について

<http://jp.dynamics.hitachi-solutions.com/>

<http://www.hitachi-solutions.co.jp/dynamicsax/>

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号
 本社別館 〒108-8250 東京都港区港南二丁目18番1号
 Tel:03-5780-2111 ホームページ: <http://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ

■ 展示会情報

展示会名	第25回 設計・製造ソリューション展 http://www.dms-tokyo.jp/ja/Home/
日時	2014年6月25日(水)～27日(金)
場所	東京ビッグサイト

<商品・サービスに関するお問い合わせ先>

ホームページ:<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/> Tel:0120-571-488

<報道機関からのお問い合わせ先>

担当部署: ブランド・コミュニケーション部 広報・宣伝グループ

担当者: 安藤

Tel:03-5479-5013 Fax:03-5780-6455 E-mail:koho@hitachi-solutions.com

日立ソリューションズグループは、お客様の業務ライフサイクルにわたり、豊富なソリューションを全体最適の視点で組み合わせ、ワンストップで提供する「ハイブリッドインテグレーション」を実現します。

- ※ Microsoft、Microsoft Dynamics は、マイクロソフト コーポレーションの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ※ To-Increase Product Engineeringは、To-Increase B.V.のオランダおよびその他の国における商標です。
- ※ Windchill、PDMLinkは、PTC Inc.の登録商標または商標です。
- ※ ハイブリッドインテグレーションは、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。
- ※ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号
本社別館 〒108-8250 東京都港区港南二丁目18番1号
Tel:03-5780-2111 ホームページ:<http://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ